

平成28年度当初予算 歳出

(単位:千円)

款	項	平成28年度 当初予算額	平成27年度 7月現計予算額	差引増減
10	教育費	① 121,359,633	121,561,638	△ 202,005
	教育総務費	4,773,872	4,773,237	635
	1 (福祉保健部 ・生活環境部所管)	② 6,276,311	6,442,619	△ 166,308
	小計	11,050,183	11,215,856	△ 165,673
	2 小学校費	41,377,651	42,661,389	△ 1,283,738
	3 中学校費	24,920,798	24,734,488	186,310
	4 高等学校費	29,177,245	28,385,299	791,946
	5 特別支援教育費	9,864,278	9,968,547	△ 104,269
	6 大学費 (企画振興部 ・福祉保健部所管)	③ 1,289,565	1,319,124	△ 29,559
	社会教育費	2,469,763	2,069,724	400,039
	7 (企画振興部所管)	④ 0	104,679	△ 104,679
	小計	2,469,763	2,174,403	295,360
	8 保健体育費	1,210,150	1,102,532	107,618
教育委員会所管分計(①-②-③-④)		113,793,757	113,695,216	(+0.1%) 98,541
	うち事業費	構成比 (12.4%) 金額 14,099,488	構成比 (11.1%) 金額 12,596,494	(+11.9%) 1,502,994
	うち人件費	構成比 (87.6%) 金額 99,694,269	構成比 (88.9%) 金額 101,098,722	(△1.4%) △ 1,404,453

<参考>

県予算額に占める教育委員会予算額の割合	18.7%	18.7%	
県予算額	609,216,000	608,635,000	(+0.1%) 581,000

平成28年度 教育委員会当初予算(一般会計)の概要

I 予算のポイント

1 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

【基本方針】

全国学力・学習状況調査において、中学校では依然として学力の伸び悩みが見られることから、中学校の学力向上に向けた取組を一層推進します。高校では、思考力・判断力・表現力と学習意欲を高めるため、継続的に授業改善を推進するとともに、世界に通用するグローバル人材の育成を図ります。さらに、地域に信頼され選ばれる学校となるよう、魅力・特色ある学校づくりを推進します。

また特別支援教育においては、障がいの有無にかかわらず共に学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システム推進のため、子どもの能力や可能性を最大限に伸ばし、一人ひとりの進路実現に向けた取組を引き続き実施します。

児童・生徒の体力については、全体として着実に向上しているものの、運動する子とそうでない子の二極化が課題であることから、運動習慣の定着に向けた取組を推進します。

いじめ・不登校をはじめ、貧困など家庭環境等に起因する様々な課題について、早期発見・早期対応のための組織的な取組の強化を図るとともに、全国平均を上回っている不登校出現率の低下に向け、不登校の未然防止や解決支援に係る取組を推進します。

これらの取組を推進するため、学校マネジメントに係る取組の徹底・強化等を通じて、「芯の通った学校組織」の確立を図ります。

(1) 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

学力向上においては、これに組織的に取り組む市町村を支援するとともに、「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力等」の双方の育成に向けた主体的・協働的な学習や組織的な授業改善の取組を推進します。また体力向上では、全学校において、運動の日常化・習慣化のために目標を掲げて組織的に取り組む「一校一実践」を引き続き推進します。

(2) グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成

国内外で活躍する人物に触れる機会の創出、留学や海外大学への進学等の機運の醸成や情報提供の充実などを図り、大分から世界に通用するグローバル人材の育成を図ります。

(3) 安全・安心な教育環境の確保

家庭環境等に起因する様々な課題を抱える子どもを支援するため、スクールソーシャルワーカーを全市町村に配置するなど、不登校等対策を強化します。

経済的な理由により就学が困難な高校生に対する支援を充実するとともに、適切に学校施設・設備の整備を行い、安全・安心な学校づくりを推進します。

(4) 信頼される学校づくりの推進

子どもの力と意欲を高める「芯の通った学校組織」の確立に向けた取組を推進するとともに、地域に根ざした魅力・特色ある高校づくりを推進します。また、「協育」ネットワークを活用した放課後・土曜日等の学習支援の充実を図ります。

2 芸術文化による創造県おおいとの推進

【基本方針】

子どもたちが芸術作品を鑑賞する力を効果的に高める取組を推進します。また、本県の文化財や伝統文化を県民共有の財産として適切に保存・管理するとともに、県民がその歴史的価値を認識し積極的に活用できるよう、日本遺産認定への支援や埋蔵文化財センターの移転整備を進めます。

(1) 芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり

県立美術館において、小学4年生を対象に芸術作品を主体的に鑑賞する力を育成するなど、美術教育における効果的な鑑賞授業の推進を図ります。

(2) 文化財・伝統文化の保存・活用・継承

日本遺産の認定促進に向けた情報発信や文化財の活用を図ります。また埋蔵文化財センターの移転整備を進め、出土品の保存・管理の充実と展示機能の拡大を図ります。

3 スポーツの振興

【基本方針】

より多くの県民が生涯にわたり日常的にスポーツに親しめるよう、屋内スポーツ施設の整備など、スポーツ環境の整備を推進します。また、優れた才能を持つジュニア選手の発掘・育成・強化やトップアスリートへの支援を行い、更なる競技力向上を図ります。

(1) 県民スポーツの推進

総合型地域スポーツクラブを中心とした、県内各地域における活動の場づくりを推進するとともに、屋内スポーツ施設の実施設設計を進め、早期の建設着工を目指します。

(2) 世界に羽ばたく選手の育成

優秀選手に対する必要な能力開発や育成プログラム等の実施を図ります。また、トップアスリートの就職を引き続き支援します。

II 事業体系（県政推進指針）

3 発展 一人を育み基盤を整え発展する大分県

（1）生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

①子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

—	小学校学力向上対策支援事業	176,978
—	中学校学力向上対策支援事業	296,107
—	特 読書だいすき大分っ子育成事業	3,587
—	未来を創る学び推進事業	10,447
—	ふるさとの魅力発見・継承推進事業	3,263
—	体力アップおおいた推進事業	7,557
—	特 おおいたを創るキャリア教育推進事業	3,426
—	特 地域産業を担うものづくり人材育成事業	9,576
—	特 地域みらい創造ビジネスチャレンジ事業	5,130
—	特 地域で育む福祉教育推進事業	1,406
—	新 共同実習船建造事業	13,000
—	特別支援教育費	7,519

②グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成

—	特 グローバル人材育成推進事業	16,507
---	-----------------	--------

③安全・安心な教育環境の確保

—	いじめ・不登校等未然防止対策事業	153,857
—	いじめ・不登校等解決支援事業	136,261
—	特 不登校児童・生徒図書館等活用推進事業	1,890
—	特 地域教育力パワーアップ事業	2,696
—	学校防災教育推進事業	10,467
—	高等学校等奨学金貸与事業	54,614
—	公立高等学校等奨学金給付事業	320,860
—	県立学校施設整備事業	2,941,687
—	特 スクールバス整備事業	48,460

④信頼される学校づくりの推進

—	「芯の通った学校組織」定着推進事業	603
—	特 地域の高校活性化支援事業	20,000
—	放課後・土曜学習支援事業	74,248
—	学校マネジメント力向上推進事業	6,299

(2) 芸術文化による創造県おおいたの推進

①芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり

└─ 特 アクティブ・ラーニング美術教育推進事業 6,160

②文化財・伝統文化の保存・活用・継承

└─ 特 日本遺産認定推進事業 18,048

└─ 埋蔵文化財センター移転事業 664,629

(3) スポーツの振興

①県民スポーツの推進

└─ 特 地域スポーツ活性化推進事業 8,028

└─ 県立スポーツ施設建設事業 88,139

②世界に羽ばたく選手の育成

└─ チーム大分ジュニアアスリート発掘事業 3,808

└─ 東京オリンピック選手強化支援事業 7,500

└─ トップアスリート就職支援事業 1,421

(注) 事業名前の「特」はおおいた地方創生推進枠事業を、「新」は新規事業を示す。

平成28年度一般会計当初予算（主な事業）

(単位：千円)

事業名	平成28年度 当初予算額 (前年度7月補正後 予算額)	当初予算の概要	所管課
1 公立高等学校等奨学金給付事業	320,860 (183,619)	修学に意欲のある高校生等が、保護者の経済的理由によりその機会を失うことのないよう、奨学金を給付する。 ・対象 市町村民税非課税世帯 第1子 年額 59,500円 第2子以降 年額 129,700円 生活保護受給世帯（修学旅行費相当分）年額 32,300円	教育財務課
2 高等学校等奨学金貸与事業	54,614 (63,802)	修学に意欲のある高校生等が、保護者の経済的理由によりその機会を失うことのないよう、奨学金の貸与原資を（公財）大分県奨学会に貸し付ける。 【特】大学奨学金の貸与額を拡充する。 ・貸与単価の上乗せ （例）国公立4年制、自宅外生の場合 40,000円/月→43,000円/月	教育財務課
3 県立学校施設整備事業	2,941,687 (2,826,333)	老朽化した校舎等の新增改築・大規模改造など、教育環境の改善を図るため、県立学校の施設や設備の整備を行う。 ・大規模改造（大分工業高校など20校） ・高校改革プラン（別府翔青高校）	教育財務課
特 4 スクールバス整備事業	48,460 (0)	特別支援学校に配備しているスクールバスについて、車両整備方針に基づき計画的に更新する。 ・臼杵支援学校 2台	教育財務課
新 5 共同実習船建造事業	13,000 (0)	津久見高校海洋科学学校の大型実習船「新大分丸」の老朽化に伴い、香川県と共同で建造する実習船の設計を行う。 ・31年度共同運航開始予定	教育財務課
6 小学校学力向上対策支援事業	176,978 (176,808)	客観的な数値目標を盛り込んだ推進計画を策定し学力向上に取り組む市町村に対し、習熟度別指導推進教員（18人）を配置する。 基礎・基本の定着に加え、活用力の理解度を把握するため、学力定着状況調査（小5）を実施する。	義務教育課
7 中学校学力向上対策支援事業	296,107 (294,319)	客観的な数値目標を盛り込んだ推進計画を策定し学力向上に取り組む市町村に対し、習熟度別指導推進教員（36人）を配置する。 基礎・基本の定着に加え、活用力の理解度を把握するため、学力定着状況調査（中2）を実施する。	義務教育課
特 8 アクティブ・ラーニング 美術教育推進事業	6,160 (0)	美術教育における、より効果的な鑑賞授業の推進に向け、小学4年生を対象として、県立美術館を活用し、主体的に芸術作品を鑑賞する力を育成するとともに、鑑賞学習の手法、指導法等を研究する。	義務教育課
9 いじめ・不登校等未然防止対策事業	153,857 (157,584)	不登校の生徒への支援や未然防止に取り組むため、不登校対策プランを策定した拠点校に専門コーディネーターとして地域不登校防止推進教員を配置（19人）する。 不登校が生じない、より良い学級づくりを推進するため、不登校予兆生徒の早期発見・早期支援に向けて、拠点校において学級への適応感を計るテストを実施する。	生徒指導推進室
10 いじめ・不登校等解決支援事業	136,261 (128,328)	生徒や保護者の悩み等に対応するため、専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー（73人）を小・中・高等学校に配置する。 【特】貧困など家庭環境に起因する不登校等を解決するため、社会福祉士などの資格を持つスクールソーシャルワーカーを全市町村に配置し、早期に福祉事務所等の関係機関へ繋ぐ体制を構築する。	生徒指導推進室
特 11 グローバル人材育成推進事業	16,507 (0)	グローバル人材の育成を図るため、高校生を対象として、海外留学への支援や人文科学等の課題を世界的な視野で考える力を養う「グローバルリーダー育成塾」などを実施する。 小・中学生（各80人）を対象に英会話中心のイングリッシュ・キャンプを実施する。	高校教育課
12 未来を創る学び推進事業	10,447 (3,139)	高大接続改革実行プランを踏まえ、今後の大学入試改革に対応するため、高等学校の授業改善に向けた研究などを行う。 生徒が主体的に学ぶアクティブ・ラーニング型授業における効果的なICTの活用を研究する。	高校教育課

(単位：千円)

事業名	平成28年度 当初予算額 (前年度7月補正後 予算額)	当初予算の概要	所管課
13 特 おおいたを創るキャリア 教育推進事業	3,426 (0)	将来的に県内就職を希望する学生の増加を図るため、進学を希望する高校生を対象に企業説明会やインターンシップ等を実施するとともに、魅力ある県内企業の企業・雇用情報の提供を行う「おおいた学生登録制度」の加入を促進する。	高校教育課
14 特 地域の高校活性化支援事業	20,000 (0)	地域の高校が地元で信頼され選ばれる学校となるよう、外部講師の活用などの学力向上に資する取組に加え、地域住民等との連携による魅力・特色ある学校づくりにつながる取組を実施する。	高校教育課
15 放課後・土曜学習支援事業	74,248 (86,907)	学力向上と豊かな心を育成するため、地域において放課後や土曜日を活用し、学習活動や体験活動などに取り組む市町村を支援する。 ・放課後チャレンジ教室(213教室) 活動時間全体の5割は補充学習を実施 ・土曜教室 小学校(120教室)活動時間全体の3割は補充学習を実施 【新】中学校(36教室)活動時間の全てで補充学習を実施	社会教育課
16 女性による地域力向上支援事業	2,944 (2,944)	女性が地域でいきいきと活躍できるよう、地域婦人会の活動を周知するなど、次代を担う人材育成を支援する。 ・女性活動実践フォーラムの開催(6市町) ・リーダー研修の開催	社会教育課
17 特 読書だいすき大分っ子育成事業	3,587 (0)	子どもの読書量の増加と読書の質の向上を図るため、本を読みたくなるアイデアを出し、読書の楽しさを伝える「子ども司書(子どもの読書リーダー)」を育成する。 中学生・高校生の読書活動の活性化に向け、本の紹介のプレゼンテーションを競う「ビブリオバトル大会」の対象を高校生に加え中学生へ拡充する。	社会教育課
18 特 不登校児童・生徒図書館等活用推進事業	1,890 (0)	不登校児童・生徒の早期学校復帰に向け、学校生活への適応力などを高めるため、図書館や青少年の家などを活用し、社会活動や体験活動プログラムを実施する。	社会教育課
19 特 地域教育力パワーアップ事業	2,696 (0)	子どもの貧困や発達障がいなど児童・生徒に係る様々な課題を地域で対応できるよう、地域人材の掘り起こし・育成や社会教育関係団体の交流促進を行う。	社会教育課
20 特 日本遺産認定推進事業	18,048 (0)	日本遺産の認定に向け、村落風景やキリシタン文化など市町村を繋ぐ文化・伝統のストーリー化を行うとともに、文化財のブラッシュアップや情報発信を実施する。	文化課
21 埋蔵文化財センター移転事業	664,629 (159,751)	築後50年が経過し、老朽化が著しい埋蔵文化財センターの移転先として、旧県立芸術会館を改修する。 ・29年4月開館予定	文化課
22 特 地域スポーツ活性化推進事業	8,028 (0)	県民の体力向上及び健康の保持増進を図るため、総合型地域スポーツクラブを中心として、手軽に取り組める運動プログラムを実施する。 ・中高年を対象とした筋力アッププログラム(貯筋運動)の実施 ・総合型クラブにおけるウォーキングイベントの実施(42回)など	体育保健課
23 県立スポーツ施設建設事業	88,139 (29,009)	武道をはじめとする屋内スポーツの競技施設を充実するため、全国規模の大会に対応し、大規模災害時の広域防災拠点としても利用できる屋内スポーツ施設の実施設設計などを行う。 ・大分スポーツ公園内(31年度完成予定)	体育保健課

※「特」は、おおいた地方創生推進枠事業(メニュー)、「新」は新規事業(メニュー)